

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 9 月 29 日

【評価実施概要】

事業所番号	0570502799
法人名	社会福祉法人中央会
事業所名	安心サポート本荘
所在地	由利本荘市水林281番地4 (電話) 0184-24-3711
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成21年9月29日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人では多くの福祉事業が展開されています。ホームに関しては法人機能を活用した保育園児との交流が積極的に実践されています。又、「笑顔」「元気」をキーワードにスタッフと入居者が楽しい関係・雰囲気構築を感じることが出来ました。入居との関わりの中で新しい発見がありそれを入居者の日常生活のケアに活かした取り組みもありました。外出が可能な時期はホーム内での閉じこもった生活をしたくないと言うので外出の機会を多くする努力がなされています。ADL的な評価のみではなく「QOL」の向上を目指す方針がスタッフで共有されていました。

【情報提供票より】 (H21年 09月 05日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成12年04月01日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	7人	常勤 5人, 非常勤 2人, 常勤換算	6.4人

(2) 建物概要

建物構造	○木造	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	寝具リース代 95円×30日	
敷金	有 (無)		寝具洗濯代 480円	
保証金の有無(入居一時金含む)	有 (無) (円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		930円	

(4) 利用者の概要(9月5日現在)

利用者人数	9名	男性	名	女性	9名
要介護1	2名	要介護2		3名	
要介護3	3名	要介護4		1名	
要介護5		要支援2			
年齢	平均 85.4 歳	最低	78歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	由利組合総合病院 本荘第一病院 山田歯科医院
---------	------------------------

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価結果あはスタッフと討議し新たな課題を共有する機会として認識しています。今回はより良いケアプランを作成する為の取り組みが実践されていました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者とスタッフとで討議を行い作成しました。スタッフが共同して作成されていました。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議ではホームの現状や取り組み状況等が報告されています。入居者がより楽しい生活が送れるような継続したケアが提供されること為の意見交換等が積極的に行なわれています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族は運営推進会議にも参加しています。ホームとしても家族の日常的な面会時等を活用してスタッフとの意見交換及び不安・要望を引き出す努力がなされています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自然環境に恵まれています。周囲には民家が少なく日常的な繋がりには困難な状況にあります。しかし、地域の行事及びホームの行事時には関わりが保たれています。又、同法人内の施設を介して地域の保育園児との交流は積極的に行なわれています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	外出時に利用者の自宅に立ち寄ったり、法人内の施設の保育所園児との交流を保つ等住み慣れた地域での生活を継続している環境調節が行なわれています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は様々な機会に確認出来るような工夫がなされています。利用者とスタッフのコミュニケーションが良く保たれており共有した生活時間の構築する取り組みが実践されています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事時には可能な限り参加するようにしています。又、ホームにも立ち寄って貰い地域住民との交流が保たれています。併設施設との共同の行事にも家族・近所の方等の協力・参加が得られています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価はスタッフの実践の振り返り・気付きの機会と理解しています。そこでの評価をスタッフ・管理者で成果を共有しあっています。又、新たな実践目標を共有しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には自治会・利用者家族・行政の方が構成メンバーになっています。利用者がより楽しい生活が継続出来ることを期待しています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者の処遇等について行政の関係スタッフとの連携・情報交換等が行なわれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に家族には利用者の生活状況が担当スタッフからの手紙等で報告されています。又、家族の面会時にも日常性・家族が不安に思ったこと等についてのコミュニケーションが保たれています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面接時等に家族の希望を引き出す努力が継続的に実践されています。又、それをケアプラン・日常ケアに反映できるような取り組みが実践されています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人なので異動はあります。異動がある時は「お別れ会」を企画して利用者に判って貰える努力をしています。又、スタッフも何気ないフォローでダメージを最小限の留める対応が実践されています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	様々なレベルでの研修会の参加にはにはスタッフの希望が取り入れられています。研修会の成果は参加したスタッフからの伝達研修等によりスタッフで共有できるよう学習会も実践されています。最近インフルエンザについての研修を行なっています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の連絡協議会に加入しています。その成果もあり日常的な情報交換システムも確立されています。又、ホーム見学等も行なわれています。今後は、スタッフレベルでの交流も計画されています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	殆どの家族・本人が入居前にホームの見学を行なっています。その為にイメージを持つことが可能です。入居して間もない期間はスタッフも入所者を理解するようなケアを心がけていますし、スタッフ同士でそれを共有するような取り組みが実践されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の誕生会を行なっています。その時は素材の調理方法を一緒に相談したり、利用者から新しい調理方法を教えて貰う等の共同作業が実践されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用時に家族・ケアマネ等から生活暦（職歴等）及びアセスメントにより入居者の情報を基に利用者・家族の希望等を把握するように努めています。又、家族の面会時にも日常生活から気付いた内容の情報交換を行い日々のケアに反映させるよう取り組んでいます。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン更新はスタッフが共同作業として行なっています。その過程には家族等の意向・意見も反映されています。ケアプランはスタッフだけでなく家族とも共同して作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	会議の中で入居者の日常生活全般についてアセスメントが行なわれています。そこでのケア方針を共有しています。大きな変化が発生した場合はその都度ケアプランの見直しが行なわれています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	学生・ボランティアは可能な限り受け入れています。そこで認知症について理解してもらうような取り組みがおこなわれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の主治医は殆ど固定されています。緊急時の対応についても家族の意向を確認しながら対応がなされています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族と主治医及びホーム責任者が相談しながら対応していく方針が確立されています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシー保護はスタッフ間で方針が確立されています。支援記録の記入方法及びホーム内の写真展示等に具体化されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに沿ったケアが実践されています。又、日々のケアの中から利用者の趣味等の発見があったり得意な仕事に取り組んで貰う中でスタッフとの新たな関係が構築されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下処理を行いながらスタッフと調理方法を相談したり調理方法をスタッフに伝授しながら食事の準備がおこなわれています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には利用者の希望に対応した入浴が可能です。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々のケアから利用者の趣味等の発見がありました。具体的には塗り絵・編み物・書道等の趣味活動が展開されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	法人内の保育園児との交流及び可能な限り外出に取り組んでいます。その過程に利用者の実家近くの路線を迂回する事もあります。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	家族等の面会時間の制限はありませんが、面会者が帰省したことを確認してから施錠しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホームの行事の時に家族・地域住民の協力を得た防災訓練がおこなわれています。又、併施設設との合同訓練も行なっています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併施設設の管理栄養士からのアドバイス及び定期的にカロリーの確認等の協力が得られています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内には気になる臭い等はありません。居間兼食堂が入居者・スタッフの談話の場になっています。そこからの四季の変化を肌で感じるすることができます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の部屋には和たんす・家族との写真等又、観葉植物の栽培など入居者の生活空間が設計されています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。